

報道関係者各位

**AIJ投資顧問事件**  
**投資家が虚偽ファンドを見分ける3つのチェックポイント**

AIJ投資顧問の年金消失問題で、海外ファンドが取りざたされています。海外ファンドについては個人投資家の関心も高まっており、各誌で取り上げられています(注1)。アブラハム・プライベートバンク株式会社(関東財務局長(金商)第532号投資助言業)は、個人投資家に対して海外ファンドに関する中立的な評価・分析・助言を提供するゲートキーパーとして、投資家が虚偽ファンドを見分ける3つのチェックポイントをお伝えします。

※注1: 日経ビジネス2012年2月13日号 「資産逃避 日本を見限る個人マネー」  
 ダイヤモンドザイ2012年4月号 「世界の好成績ファンドにアクセスしたいなら…海外ヘッジファンドは直接買える？」  
 日経ヴェリタス2012年2月19日 オフショアファンド…現地で「直接投資」

**■投資家が虚偽ファンドを見分ける3つのチェックポイント**

1. 投資ファンドのスキームに第三者機関が介在し、透明性があること(図1、2)
2. 年率15%以上の運用実績は疑うべき(図3)
3. 投資対象と投資家の間に、中間業者がないか(個人投資家の場合も同様)(図4)

※解説詳細は、高岡壮一郎 社長ブログの当記事(<http://blog.stakaoka.com/archives/52052635.html>)をご覧ください。

高岡 壮一郎: アブラハム・プライベートバンク株式会社 代表取締役社長  
 東京大学卒業後、三井物産株式会社で海外投資審査、M&A等を担当後、2005年アブラハム・グループを起業。オフショアファンド、ヘッジファンド、海外投資を専門とする国内最大の投資助言会社アブラハム・プライベートバンク株式会社(関東財務局長金商532号)を経営。トーマツFAST50受賞。

図1. 投資ファンドのスキームの透明性があること(本来あるべき姿)

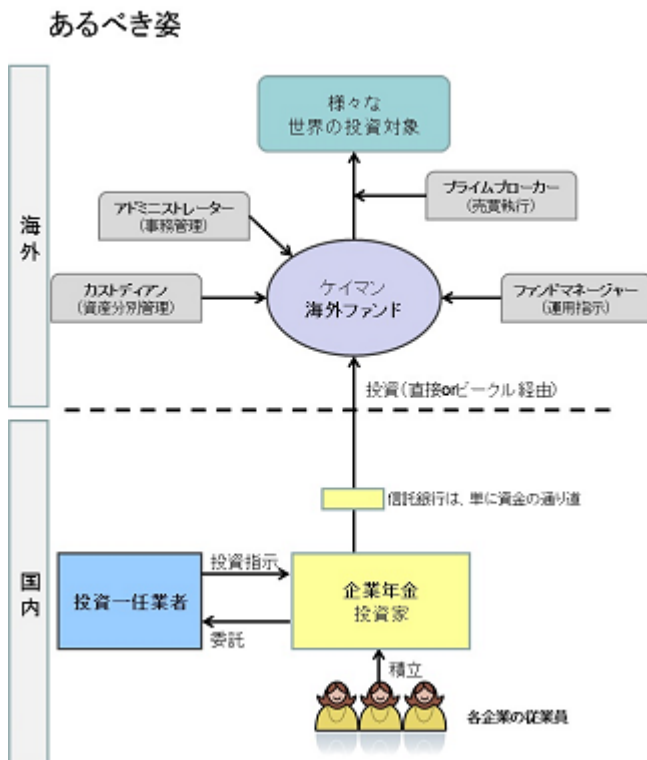


図2. AIJ投資顧問のケース

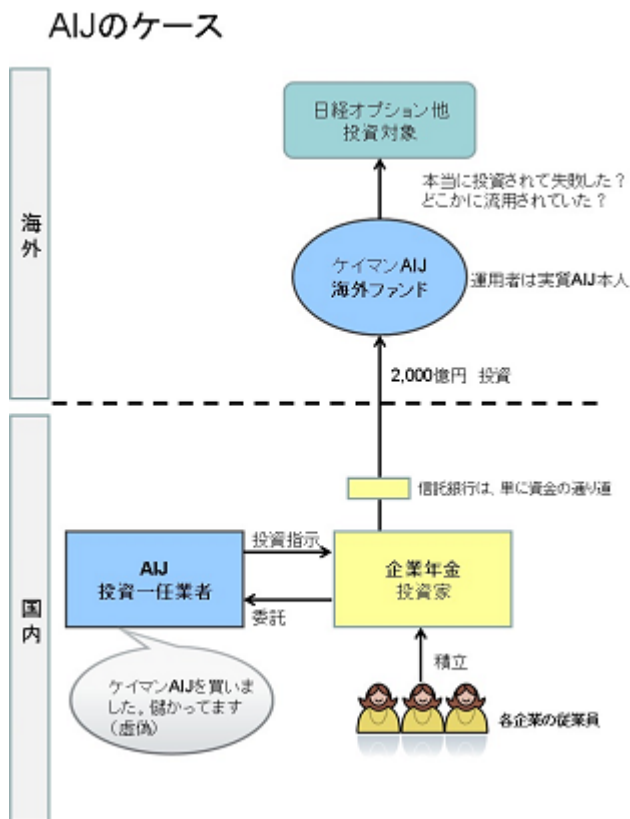


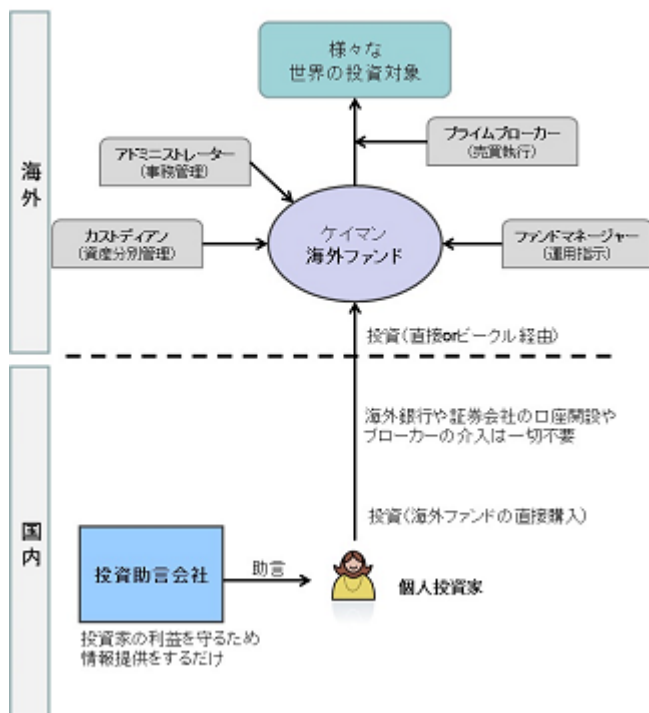
図3. 世界トップレベルの運用業者のランキング

順位	運用会社	年度累計リターン	2010年リターン
1	タイガー・グローバル	45.0%	18.0%
2	ルネッサンス・インスティテューショナル・エクイティ	33.1%	16.4%
3	ピュア・アルファII	23.5%	44.8%
4	ディスカス・マネージド・フューチャー・プログラム	20.9%	-6.7%
5	プロビデンスMBS	20.6%	30.3%
6	オキュルス	19.0%	6.9%
7	オール・ウェザー12%	17.8%	21.2%
8	ダイヤモンド・アジア・マルコ	17.8%	15.2%
9	シタデル	17.7%	10.8%
10	コートナー・マネジメント	16.9%	18.7%

※詳細は、[BloombergTop100Performing \(http://media.bloomberg.com/bb/avfile/rJWUURETpDOE\)](http://media.bloomberg.com/bb/avfile/rJWUURETpDOE)をご覧ください。

図4. 個人投資家が直接投資をする場合

あるべき姿(個人)



※参考:「日本の個人資産運用における課題とその解決策～富裕層向け投資アドバイザーの現場から～アブラハム・プライベートバンク」([http://blog.stakaoka.com/stakaokablog\\_20120226.pdf](http://blog.stakaoka.com/stakaokablog_20120226.pdf))

■ 本件に関するお問い合わせ先

アブラハム・プライベートバンク株式会社

広報担当: 池田 yiked@abraham-bank.com 電話: 03-3438-4051

**アブラハム・プライベートバンク株式会社 概要**

YUCASEE(ゆかし)を運営しているアブラハム・グループ・ホールディングス株式会社(本社:東京都港区、資本金及び準備金:5億1,000万円、代表取締役社長:高岡 壮一郎、株主:東京海上日動火災保険株式会社、株式会社ジャフコ他)の100%子会社。海外ファンド、海外投資に特化した投資助言会社であり、国内独立系の最大手。関東財務局長(金商)第532号投資助言業、社団法人日本証券投資顧問協会会員番号011-01344 <http://abraham-bank.com/>

東京都港区虎ノ門5-12-1虎ノ門ワイコービル5F